

## 全国町村議会議長会創立 70 周年記念式典・式辞

令和元年 11 月 13 日

本日ここに「全国町村議会議長会創立 70 周年記念式典」を開催いたしましたところ、安倍内閣総理大臣をはじめ、政府、国会、政党を代表する先生方並びに全国町村会長に揃ってご臨席を賜り、主催者として感激の極みであります。

この晴れの日にあたり、謹んで式辞を申し述べさせていただきます。

初めに、今上陛下におかれましては、錦秋の佳き日に、「即位礼正殿の儀」を挙行され、めでたく内外に御即位を宣明されましたことは、まことに慶賀に堪えないところであります。

私たち町村議会議長一同は、天皇陛下を日本国及び日本国民統合の象徴と仰ぐとともに、我が国の一層の発展、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄を願われる陛下のお気持ちを汲み、最善の努力を尽くして参る所存であります。

さて、「令和」という新しい時代となった記念すべきこの年に、

全国町村議会議長会は創立 70 周年を迎えました。

戦後まもない混乱期に、住民に最も身近な町村の二元代表制の一翼を担う議会議長の連合組織として産声をあげた本会は、戦後復興、高度経済成長と焦土から世界有数の経済大国となった昭和の成長期を地方から支えて参りました。

平成の世となってからは、バブル崩壊、金融危機といった経済の低迷期を経験し、少子高齢化といった社会的背景も相俟って、財政基盤の脆弱な町村ではその舵取りに困難を極めながらも、さらには、多くの町村にあっては平成の大合併といった大きな荒波に揉まれながらも、住民の要請に応えるべく、地域社会の振興発展、地方議会制度の充実などの多くの課題に対し成果を挙げてきたところであります。

諸先輩から引き継いだ伝統あるこの組織を、将来に向かって引き継ぎ、発展させるため、今、道筋を付けなければならない課題が「町村議員のなり手不足問題」であります。

本会といたしましては、多様な人材を議員として確保するために、議会及び議員の魅力を高め、若者や女性などに議員になりたいと思っていただけるよう、自助努力を続けていくことは当然の

ことながら、町村議会議員に立候補しやすい環境を整えることが重要であると考えます。

この点において、是非とも実現させたいと考えておりますのが「町村議会議員選挙の選挙公営の拡大」であります。

町村議会は、都道府県議会や市議会と異なり、選挙カー、ポスターが選挙公営の対象となっておりませんし、選挙用ビラについては、そもそも配布することができません。町村議員への立候補のハードルを下げる意味でも、ご来賓各位のご理解と特段のご配慮をお願いしたいと存じます。

加えて、県議会議員や市議会議員と比べて、相当低い水準にある「町村議会議員の報酬の改善」さらには「厚生年金制度への地方議会議員の加入」、「地方議会議員の位置づけの明確化」、「兼業禁止規定の緩和」、「議員立候補にあたっての休職・復職制度の整備」といった制度面などあらゆる面から方策を講じて、我が国の議会制民主主義の根幹をなす町村議会の立ち位置を確固たるものにして参りたいと考えております。

本日の式典開式前の記念セレモニーでご覧いただいたビデオ

クリップに刻まれていたように、本会はいつの時代においても政権や与党と議論を重ね、政策の実現や予算の確保に向け、日本国憲法に保障された地方自治の本旨に基づいて果敢に行動して参りました。

この輝かしい歴史を築いていただいた諸先輩方の功績に改めて敬意を表しますとともに、令和の御代においても、本会は、時代のニーズに合った町村議会像を創りつづけていくことをお誓い申し上げます。

終わりに、本日、ご参集いただきました皆様のますますのご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げ、式辞とさせていただきます。

令和元年 11 月 13 日

全国町村議会議長会

会長 松尾 文則